

がん患者さんと緩和ケア



みなさんは、緩和ケアにどんなイメージをお持ちですか？

1. 緩和ケアとは

がん患者さんなどの、身体や気持ちの辛さをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくための治療・ケアのです。

がんになると、身体の不快な症状や、不安などの辛い経験は放っておくと、日常生活で支障をきたし、がんの治療がうまくできなくなることが分かっています。

2. 緩和ケアの対象は

がん患者さんと、そのご家族が対象です



3. いつから受けられるのか

がんと診断された時から受けることができます

4. どこで受けられるのか

入院中の病院、通院治療中の病院で受けられます。

在宅では、訪問診療や訪問看護を利用し、緩和医療を受けることができます。



5. どのようなことをするのか

- 治療の副作用へのケア
- 痛み・だるさ・吐き気に対する薬の調整
- 心の辛さのケア



医療用麻薬について

がんの患者さんは、がんによる痛みを経験することがありますが、適切に薬を使用することで8～9割の患者さんの痛みは緩和します。

医療用麻薬は、がん患者さんの痛みを和らげる有効な薬です。

しかし、「余命を短くする・頭がおかしくなる」と、誤解されている患者さん、ご家族は大変多くいらっしゃいます。

痛みのある患者さんに使用する場合は、中毒になることはありません。

適切な量を使用することで、がんの治療も日常生活も快適に送ることができます。

ご心配な方は、医師や看護師に是非、ご相談ください。